

本試験は、本来は実際の建築物を使用して調査票の作成を行う試験であるが、実際の建築物を確保できない場合のみ、仮想の建築物と写真を使用して行っている。

実際の建築物を使用するため、本来は、資料公開できない試験であるが、仮想の建築物と写真を使用する場合には、状況設定及び写真等の一部資料のみを公開する。

調査票試験問題

【設 問】

ある建築物の石綿含有調査を行いました。事前に対象とする建築物の所有者に対してヒアリングを実施しました。ヒアリング内容を第2頁に示します。対象となった建築物は新館と旧館です。調査は新館から開始しました。新館の外観図を第3頁に示します。一階平面図を第4頁に示します。写真集に調査時に撮影した各所の写真を添付します。これらの写真を見て、あなたが現場調査を行う場合に、どう判断するか、以下の注意事項に従い、別紙の調査票解答用紙に必要事項を記入し、調査票を完成させて下さい。また、第5～7頁に解答例を示しますので、参考にしてください。

<調査票作成上の注意事項>

この試験は、レベル1及びレベル2の石綿含有建材を正しく区別できるか、調査票の記入を正しくできるか、を問う試験です。

試験時間の関係でテキスト記載の現地調査総括票の記入法とは異なる部分があります。

1. 以下の(1)～(7)に沿わない解答については減点対象となります。

- (1) 調査票解答用紙にはレベル1及びレベル2の建材を調査対象として、解答してください。
- (2) レベル3や石綿を含有していない建材について、解答しないでください。
- (3) 対象とする建材がない部屋等について、この試験問題では解答は不要です。部屋名・部位・材料名・レベル等の欄について、空欄や「—」(ハイフン)で、解答しないでください。
- (4) 「部屋名」の欄は各写真の上に示す部屋名で、解答してください。
- (5) 「材料名」の欄は各写真の下に示す仕上げ表の材料名で、解答してください。
- (6) 「調査手法(目視・採取)」欄については、実際の調査現場であると仮定した場合に、
適当なものを選んで下さい。レベル1とレベル2の建材は試料採取することとします。
- (7) 調査できなかった箇所は、ヒアリング内容から読み取れるもののみを、解答してください。

2. 調査票解答用紙記入の際は該当写真のページ番号を、調査票解答用紙左端の「参照写真ページ」欄に必ず記入して下さい。

3. 写真集には部屋ごとに写真を示していますが、その上部に棟名、階層、部屋名を示し、写真の下部に仕上げ表を記載しています。なお、写真の下に示す仕上げ表には設計図書に書かれる略称や通称で記載されている場合があります。

本問題の写真は試験問題用に編集したものであり、実在する建築物ではありません。

従って、必ずしも同じ現場、同じ時期に撮影したものではなく、複数の現場の写真を組み合わせて一つの仮想の現場としています。

石綿含有建材調査における建築物所有者への事前ヒアリング内容

- ・ 建築物の竣工年は、旧館が1970（昭和45）年で、その後、別館として新館が1982（昭和57）年に新設された。建築物の定礎に記載されている社名は、現在の会社の昔の名前であり、実質的に所有者は、竣工時から変わっていない。
- ・ 別添1に新館の外観図、別添2に新館の1階平面図を示す。平面図は、竣工時のものであり、その後、改修工事が何度かされている。

新館についてヒアリングした結果を以下に示す。

- ・ 建築物の階数は、地下1階、地上10階である。
- ・ ボイラーは以前、地下1階にあったが、現在は使用していない。
10年ほど前に個別空調システムに変更している。
- ・ 1階の銀行の窓口業務室と金庫室、支店長室は、立入り禁止である。
- ・ 2階通路のエキスパンションジョイントカバーは取り外すことができない。
- ・ 4階までは、所有者が使用しており、調査が可能である。
- ・ テナント部分が多く、テナントの入れ替え時に内装を改修しているが、それぞれ記録は、いずれも残っていない。テナントが入る5階から9階は、入室禁止である。
- ・ 10階部分は、1990（平成2）年に増設された。
- ・ 屋上には煙突がある。ボイラー使用を止めているが、自家発電装置の排気を通しているため、煙突の使用を止めていない。

次に旧館についてヒアリングした結果を示す。

- ・ 旧館は、地上5階建てで、1階と4階は、調査できたが、2、3、5階は、テナント部分であり、入室できない。

以上

写真集

(数十枚の写真から一部抜粋して公開)

新館・地下1階 ボイラ室



保温材をはがす



部位	材料名
配管エルボ部	けいそう土保温材こて塗り

2

新館・1階 会議室



床を見る



部位	材料名
壁	せっこうボード

部位	材料名
床	カーペット、ソフト巾木

7

解答例

調査票解答用紙の「今回調査箇所」について解答例を以下に示します。

「正答例」および「減点対象となる解答例①～④」をよく読み、解答する際の参考にしてください。

■正答例

□今回調査箇所

参照写真 ページ	棟・階	部屋名	部位	材料名	レベル	調査手法	劣化度	分析結果	参照頁	備考
1	製造棟・1階	空調機械室	配管エルボ部	けいそう土保温材	2	目視 (採取)	/	/	/	/

製造棟・1階 空調機械室



部位	材料名
配管エルボ部	けいそう土保温材

1

■減点対象となる解答例①

レベル3や石綿を含有していない建材を解答したため減点

□今回調査箇所

参照写真ページ	棟・階	部屋名	部位	材料名	レベル	調査手法	劣化度	分析結果	参照頁	備考
3	事務棟・3階	会議室A	天井	岩綿吸音板	3	(目視)採取	/	/	/	/
3	事務棟・3階	会議室A	壁	RC	-	(目視)採取	/	/	/	/

レベル3建材を解答している (減点)

石綿を含有していない建材を解答している (減点)

■減点対象となる解答例②

対象とする建材がない部屋等について、空欄や「—」(ハイフン)で解答したため減点

□今回調査箇所

参照写真ページ	棟・階	部屋名	部位	材料名	レベル	調査手法	劣化度	分析結果	参照頁	備考
3	事務棟・3階	会議室A	—	—	—	(目視)採取	/	/	/	/
3	事務棟・3階	会議室A				(目視)採取	/	/	/	/

部位、材料名、レベル等の欄を「—」としている(減点)

部位、材料名、レベル等の欄を空欄としている(減点)

事務棟・3階 会議室A



部位	材料名
天井	岩綿吸音板



部位	材料名
壁	RC

3

■減点対象となる解答例③

- ・「調査手法」の欄を目視で解答したため減点
- ・建材のレベルを間違えて解答したため減点

□今回調査箇所

参照写真ページ	棟・階	部屋名	部位	材料名	レベル	調査手法	劣化度	分析結果	参照頁	備考
1	製造棟・1階	空調機械室	配管エルボ部	けいそう土保温材	1	目視 採取	/	/	/	/

レベルが間違っている(減点)

調査手法が目視になっている(減点)

製造棟・1階 空調機械室



部位	材料名
配管エルボ部	けいそう土保温材

1

■減点対象となる解答例④

- ・「部屋名」の欄を、写真上に示す部屋名と異なる名称で解答したため減点
- ・「材料名」の欄を、写真下の仕上げ表内の材料名と異なる名称で解答したため減点

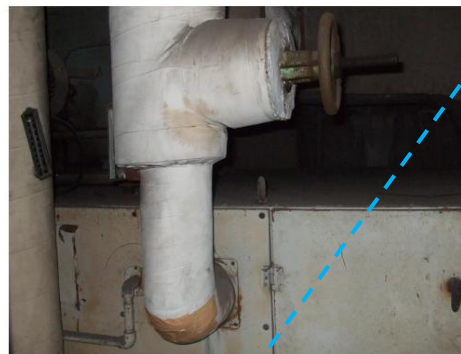
□今回調査箇所

参照写真ページ	棟・階	部屋名	部位	材料名	レベル	調査手法	劣化度	分析結果	参照頁	備考
1	製造棟・1階	機械室	配管エルボ部	パーライト保温材	2	目視 採取	/	/	/	/

部屋名が写真上に示す名称と異なる(減点)

材料名が写真下に示す仕上げ表と異なる(減点)

製造棟・1階 空調機械室



部位	材料名
配管エルボ部	けいそう土保温材

1